

平成27年 2月10日

一般社団法人神奈川経済同友会
教育文化委員会

第12回神奈川産学チャレンジプログラム 実施要綱

はじめに

神奈川産学チャレンジプログラムは、神奈川県内の大学と一般社団法人神奈川経済同友会（以下、同友会）の会員が所属する企業、団体（以下、企業）とが協同し、産学連携による学生の人材育成を目的とした課題解決型研究コンペです。

本プログラムは、PBL（Problem Based Learning）の手法を応用し、企業が抱える経営課題をテーマにあげ、それに対して学生チームが自主、能動的に研究して実践的で実効性のある解決策を研究レポートとして提示するもので、実社会で発生している問題に具体的にに取り組むことにより、問題解決能力の高い人材の育成につながります。

また、企業と学生とが1つのテーマに沿って交流を持ち意思疎通を図ることにより、就職等でのお互いのミスマッチをなくし、学生にとっては生きたビジネスの世界を知り得ることとなり、企業にとっても学生のアイデアを事業のヒントとして活かせる好機ともなります。

I. 趣旨

本プログラムは、企業が日常の経営課題の中から実践的な研究テーマを挙げ、神奈川県内に拠点を置く大学の参加協力を得て、各テーマにチャレンジする学生を募り、提出された研究成果に対して企業が審査を行い、優秀なレポートについては企業、大学、学生等の関係者による表彰式において、その努力、才能を評するものである。

次の点が特徴として挙げられる。

1. 企業、大学、学生による産学連携の形で実施され、学生の自主的な参加による学生主体のプログラムである。
2. 多岐にわたるテーマは、社会・人文科学系あるいは技術系を問わず、学生にとり広く研究が可能であり、企業の担当部署と連携して作業を進めていく過程が、学生個々の能力開発や自己啓発の場として活かされる。
3. 企業にとっては知名度のアップや学生の斬新なアイデアの取込み、優秀な人材の発掘、大学にとっては学内の活性化と企業が目指す方向性の認識等の波及効果が期待できる。

II. 経緯

同友会教育文化委員会では、平成14年5月、学生の職業や労働に対する意識と企業の求める人材とのギャップやミスマッチの解消のための諸施策を企業、大学へ提言した。

平成15年1月末、県内5大学、すなわち横浜国立大学、横浜市立大学、関東学院大学、神奈川大学、東海大学との間で産学連携のあり方を検討するための「神奈川産学懇談会」を発

足させ、その連携の一つの試みとして、学生の柔軟な発想・創造性を引き出すことを目的に、平成16年に「第1回神奈川産学チャレンジプログラム」をスタートさせた。その後、この事業は更に発展、充実し、大きな広がりを見せている。

第11回神奈川産学チャレンジプログラムでは、28の企業から32の研究テーマの提示があり、これに対して18大学、229チーム、730人の学生からその研究成果がレポートとして提出された。そのレポートに対する厳正な審査の結果、優秀なレポートを提出した59チームに対し、最優秀賞15、優秀賞44が決定され、企業、大学、学生等の関係者約400人参加による表彰式において、表彰状と褒章金が贈呈され、その榮譽を称えた。

Ⅲ. 実施概要

1. 企業のテーマ選定と募集

企業の経営課題からテーマを募集する。

2. 参加大学の募集

神奈川県内に拠点を置く大学の参加を募集する。

3. 企業、大学への説明

同友会から企業、大学へ本プログラムの進行を説明する。

4. 学生チームの募集

各テーマに対し、大学において学生チーム（以下、チーム）の応募を受け付ける。

5. 企業（以下企業とはテーマ提示企業）によるチームへのテーマの詳細な説明

6. テーマの研究

研究成果を「研究レポート」として提出する。（詳細は「応募規定」を参照のこと）

7. レポートの提出

8. 企業におけるプレゼンテーションと審査

チームは、企業に対してプレゼンテーションを行い、審査を受ける。

9. 審査結果の送付と集計

審査結果をチームリーダーと大学とに通知する。

10. 表彰式

12月に企業、大学、学生等関係者により表彰式を実施し、最優秀賞・優秀賞獲得チームを同友会と企業が連名で表彰し、チームリーダーに賞状・賞金を授与するとともに、代表チームによるプレゼンテーションと懇親会を行う。

11. スケジュール概要（予定）

3月19日（木）	参加企業・テーマ、参加大学応募期限
3月26日（木）	大学へのテーマ提示
<u>5月7日（木）</u>	チーム応募期限（同友会必着）
<u>5月20日（水）～6月4日（木）</u>	チームに対する企業説明会
<u>10月5日（月）</u>	レポート提出期限（同友会必着）
<u>10月7日（水）～11月12日（木）</u>	企業での審査とプレゼンテーション
<u>11月12日（木）</u>	審査結果提出期限（同友会必着）
<u>11月16日（月）、17日（火）</u>	チーム、大学への審査結果の発送

IV. 具体的な進め方

1. テーマ

(1) テーマの選定（企業）

- ・ 企業の経営課題（マーケティング調査、新商品・新サービスのアイデア・企画、企業のイメージアップ等）から設定する。
- ・ テーマは、分かりやすいものとし、必要に応じて補足説明をつける。

(2) テーマの募集は3月19日（木）まで（同友会→企業→同友会）

- ・ 「神奈川産学チャレンジプログラム テーマ提示台帳」「神奈川産学チャレンジプログラム 企業・団体登録台帳」（別紙1、2）に入力し、同友会にメールにて送信する。

(3) テーマ提示は3月26日（木）（同友会→大学）

- ・ テーマを大学にメールにて送信するとともに同友会のウェブサイトに掲載する。

(4) テーマに関する問い合わせ

- ・ 応募前にテーマに関する疑問がある場合には、同友会経由で対応する。

2. 参加大学の募集

(1) 同友会にて神奈川県内に拠点を置く大学の参加を募集

(2) 参加大学の募集は3月19日（木）まで（同友会→大学→同友会）

- ・ 「神奈川産学チャレンジプログラム 大学参加台帳」（別紙3）に入力し、同友会にメールにて送信する。

3. 企業、大学への説明（同友会→企業、大学）

(1) 同友会から企業、大学（以下大学とは参加大学）へ本プログラムの進行を説明する。

(2) 2月下旬に実施

4. チームの募集（大学→学生→大学→同友会→企業、学生、大学）

(1) 募集方法は大学に一任

(2) 学内の募集期限は大学に一任

- ・ チームは大学の設定した募集期限までに大学窓口にて手続きを済ませる。

(3) チームの募集は5月7日（木）まで

- ・ チームは「応募用紙兼登録台帳」（別紙5）を作成し、大学に提出する。
- ・ 大学は同台帳を取りまとめ、同友会にメールにて送信する。

【学生へのお願い】募集時に用いる「応募用紙兼登録台帳」に記載するパソコンのメールアドレス、携帯電話等の電話番号、住所の入力間違いが後を絶たない。連絡がつかない場合には、失格となることがあるので、入力には正確を期すこと。

なお、同友会からチームへの研究テーマ決定の連絡はメールを利用するので、アドレスに間違いがあるとテーマの研究を行うことができない。

- (4) 同友会にて企業別に仕分けした後、5月19日（火）に同台帳を企業にメールにて送信
- (5) プログラムの参加に対する単位認定等、学内での位置付けは大学ごとに対処
- (6) 対象は大学生、大学院生の1人から4人までのチーム
- ・ 1人が2つ以上のテーマへ応募することは不可とする。
 - ・ 申し込み時にメンバーを決定すること。
 - ・ 決定したメンバーの変更は不可とする。
- (7) チーム数の制限
- ・ 1テーマあたりのチーム数は原則として10までとする。また、企業は独自に受入チーム数を制限できる。これを超える応募があった場合には調整を行う。調整の方法は、以下の通りとする。
 - ・ チームは、応募時に第5希望までテーマを選定することができる。
 - ・ 1テーマにつき10、あるいは企業の受入許容チーム数を超える応募があった場合を調整の対象とする。
 - ・ 応募多数のテーマは、企業の意向を踏まえつつ、同友会で抽選により調整する。抽選に漏れたチームは、次希望のテーマを同友会が提示する空きテーマから順次選ぶことができる。
 - ・ 抽選は、いわゆるくじ引きにより行う。
 - ・ 決定した研究テーマは、同友会からチーム、大学にメールにて通知する。
- (注) 抽選により他のテーマへ振り分けられた場合には、不参加とすることも可能とする。

5. 企業によるチームへのテーマの詳細説明（企業→チーム）

(1) 説明会は6月4日（木）まで

- ・ チームへの説明会開催の連絡は、企業から直接行う。

(注) 説明会はできるだけ土、日、平日夕方等も含め、複数回開催すること。

各企業はあらかじめ説明者の日程、会場等を準備しておいてください。

(2) 説明会開催日情報の連絡（企業→同友会→大学）

- ・ 説明会開催の連絡は同友会へも行う。大学への説明会開催の連絡は同友会から行う。

(3) 説明内容（必須事項）

- ・ 企業概要
- ・ 調査、研究のポイントと期待する内容
- ・ 審査基準（採点基準や重点事項）
- ・ テーマ設定の背景
- ・ 知的財産権等の取扱い
- ・ 「応募規定」以外のレポートの詳細な規定

(注) 説明会開催時に決定していない内容がある場合には、決定後速やかにチームへ連絡すること。

6. テーマの研究

(1) 研究期間は10月5日（月）まで（同友会必着）

(2) 研究の成果は「応募規定」（別紙4）に従い作成

7. レポートの提出（チーム→大学→同友会→企業）

- (1) 学内の提出期限は大学に一任
- (2) チームはレポートを大学の設定した提出期限までに大学窓口に提出
- (3) 大学から同友会への提出は10月5日（月）まで
- (4) 同友会は、レポートを企業毎に仕分けし、10月6日（火）に企業に発送

8. 企業におけるプレゼンテーションと審査（企業→チーム）

- (1) 企業におけるチームからのプレゼンテーションは、11月12日（木）まで
- (2) 企業はテーマごとに「審査表」（個別）（別紙6）に基づき、採点、講評
(注) 各企業はあらかじめ審査員の日程、会場等を準備しておいてください。
- (3) 複数のテーマを提示した企業で、各テーマの応募が少ない場合は、まとめて審査を行うことも可
- (4) 応募多数のテーマは、企業の判断により、1次審査として書類による選考を行い、2次審査として、原則全応募チーム同席のうえ、プレゼンテーションによる審査も可
(注) 各チームに結果を報告するので、1次審査を通らなかったチームも個別審査表で講評を行ってください。
- (5) 企業は、テーマごとに優秀なレポートに「最優秀賞」「優秀賞」を選定。賞の数は、複数でも該当なしでも可
- (6) 審査員は複数

9. 審査結果の送信

- (1) 企業は、同友会に審査、プレゼンテーションの実施状況を連絡。大学へは、同友会から連絡
- (2) 同友会への審査結果の送信は、11月12日（木）まで（企業→同友会）
 - ・ 企業は、審査表（個別）、同（全体）（別紙6）をメールにて送信する。
- (3) 入賞チームの審査結果の送信は11月16日（月）午後（同友会→入賞チーム）
 - ・ 同友会から入賞チームのリーダーへ表彰式の招待状をメールにて送信する。
 - ・ 入賞チームの審査表は表彰時に手渡す。
- (4) 選外チーム、大学への審査結果の発送は11月17日（火）（同友会→選外チーム、大学）
 - ・ 同友会から選外チームのリーダーへ審査表を発送し、大学へ受賞者一覧表をメールにて送信する。

10. 表彰式

- (1) 表彰式は12月15日（火）に開催
 - ・ 表彰式では入賞チームを企業と同友会が連名で表彰し、チームリーダーに賞状・賞金を授与する。最優秀賞・優秀賞の別は、表彰時に発表する。
(注) 企業は賞状授与者の日程を調整しておいてください。
- (2) 表彰式に招待するチームは、会場の収容能力と審査結果とを勘案し、同友会にて決定

- ・ 原則として招待する学生は、入賞チームとする。
- (3) 表彰式では代表チームのプレゼンテーションを実施
- ・ 代表チームは、最優秀賞のチームの中から概ね4チームを同友会で選出する。
11. 費用負担
- (1) 賞
- ・ 企業は、最優秀賞1チームあたり10万円、優秀賞1チームあたり5万円の賞金を負担する。
 - ・ 企業が別途、独自に表彰を行うことも可とするが、その場合は、図書券等、現金以外が望ましい。また、その授与は、表彰式および懇親会会場では行わないこと。なお、これについては、同友会は関与しない。
- (2) 表彰式
- ・ 企業は、表彰式費用の一部負担金として5万円を負担する。(10月請求書送付)
 - ・ 大学は、表彰式費用の一部負担金として5万円を負担する。(同)
- (3) 研究調査費用
- ・ 研究調査費用は、チームの自己負担とするが、企業からの要請に基づきチームが負担した場合は、一部企業負担も可能とする。
12. その他
- (1) 個人情報
- ・ 学生の個人情報(氏名、住所、電話番号、メールアドレス)については、同友会、企業、大学内で漏洩・紛失防止に努めつつ、神奈川産学チャレンジプログラム内のみで利用できることとする。
- (2) レポート
- ・ 所有権は企業に帰属するものとする。(提出書類は返還しない)
 - ・ 意匠・特許等の知的財産権が発生する可能性がある場合には、その取扱いを企業がテーマ提示台帳に記載すること。(個別対応)
 - ・ レポート提出後の内容変更や資料追加は不可とする。
 - ・ 他のビジネスコンテスト等との兼用は不可とする。
 - ・ インターネット等から論文等を切り貼りし、あたかも自分で書いた論文であるかのようにならないこと。不正があった場合は、直ちに失格とする。
- (3) 辞退
- ・ チームが辞退する場合は、チームリーダーが速やかに企業、大学、同友会へそれぞれ連絡する。
- (4) 実施要綱の改定
- ・ 本実施要綱は、同友会にて必要に応じて改定されることがあり、その際には、同友会から企業、大学へ通知する。チームへの改定の連絡は、大学から行う。

【別 紙】

1. 「神奈川産学チャレンジプログラム テーマ提示台帳」
2. 「神奈川産学チャレンジプログラム 企業・団体登録台帳」
3. 「神奈川産学チャレンジプログラム 大学参加台帳」
4. 「応募規定」
5. 「応募用紙兼登録台帳」
6. 「審査表」（個別）「同」（全体）

以 上

【神奈川経済同友会事務局】

TEL 045-671-7110

FAX 045-671-7160